

2 エッセイ／“おかね”を語る

大雪の街で 作家 宮下奈都



4 インタビュー／扉を開く

佐藤可士和 クリエイティブディレクター／SAMURAI 代表

外部の目で本質的価値を見だし、クリエイティブの力で伝える

11 地域の底力——北海道中川郡音威子府村・美深町  
歳月を重ねて道北の未来を切り開く  
音威子府村と美深町の試み



18 対談／守・破・創

治山正史 株式会社はるやまホールディングス 代表取締役社長執行役員

片岡剛士 日本銀行政策委員会 審議委員

日本の消費者の心に火を点けるスーツと社員の「健康宣言」



24 FOCUS → BOJ 25 日本銀行業務局 日本国債の「一生」に関わる仕事  
国債の円滑な発行と流通を支える

日本銀行のレポートから

28 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2018年7月—

30 「地域経済報告」(さくらレポート) —2018年7月—

別冊「高水準の収益対比で控えめな企業の支出スタンスの背景  
—中小企業を中心に—」—2018年6月—

36 トピックス

平成30年7月豪雨にかかる災害に対する日本銀行の対応ほか



39 AIR MAIL from Washington, D.C.  
ワシントンD.C.の保育園事情

表紙のことは

日本銀行甲府支店は、日本銀行の二六番目の支店として、昭和二十年（一九四五）七月二十三日に開設されました。

支店開設前、第二次大戦の本土空襲が激しくなり、その被害は関東一円に広がる懸念が生じました。日本銀行では、このような情勢に対応するため、本店業務の一部を疎開し、甲府市に支店を設置することにしました。

しかし、甲府市では、七月六日夜半からの空襲により、市内の大半が焼失しました。こうした中であって、店舗設置予定地であった山梨中央銀行相生町支店（現在の甲府商工会議所の所在地）は被害を免れたため、同店を間借りする形で支店の開設にこぎ着けることができました。支店開設直後の業務は、空襲により焼けたお金の引き換えが中心となりました。その後、終戦を迎えたことから、本店業務の一部疎開は実施されませんでした。

表紙の初代店舗は、昭和五十一年（一九七六）に店舗を新築移転するまでの約三〇年間にわたり、甲府の発展を見守り続けました。



表紙・画 北村公司